

## 1 学校経営の基本構想

### (1) 学校経営の基盤

#### ①公教育としての基盤に立つ学校

○日本国憲法、及び教育基本法、学校教育法、児童憲章をはじめとする関係法規並びに教育課程の基準である学習指導要領に則った教育を行う。

○福岡の教育ビジョン、古賀市の管理規則、教育施策に則った教育を行う。

#### ②現代社会の要請に応える学校

○社会の変化に主体的に対応でき、自ら考える力をもった心豊かな人間の育成を図るとともに、国際社会に生きる社会力を持った児童を育てる教育を行う。

○基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、個性の伸長や自己実現を図る教育を行う。

#### ③児童・保護者・地域の願いに応える学校

○地域との連携・協働を大切にし、古賀のコミュニティ・スクールによる地域とともにある教育を行う。

○地域の豊かな自然や文化の活用と恵まれた人材の登用により地域に開かれた教育を行う。

#### ④人権・同和教育の充実

○国・県・市の人権・同和教育施策の指針に基づき、いじめや差別のない教育を行う。

○古賀東中学校区小・中学校が一貫した教育活動（響育）を行う。

### (2) 教育目標

豊かな心をもって、学び合い、夢や目標に向かって挑戦する子どもの育成 「花・挨拶・笑顔・歌声・ふるさと」を大切にする子ども
---

#### 豊かな心をもつとは

自分や自分以外のひと・もの・ことを認め、思いやり、関わり合う素直な心情が育ち、たくましく生きようとする事。

#### 学び合うとは

学び方や基礎基本の学力を身につけるだけでなく、お互いの考えや意見を交流し、その考えをもとに、さらに高まろうとすること。

#### 夢や目標に向かって挑戦するとは

自らの力を信じ、自らを律するとともに、夢を持ち目標を定めて、困難な課題に向かって積極的に挑戦を続けていくこと。

### (3) 具体目標

#### ①めざす児童像

○目標をもち、集団との交流を通して、より確かな学びを創り出す子ども(知育)

○他を認め、思いやり、自ら進んで自分の役割を果たすことができる子ども(徳育)

○自分の健康や生活習慣に関心を持ち、目標をもって元気に活動する子ども(体育)

#### ②めざす学校像

○子どもにとって希望やよろこびのある学校

○環境が整った、美しく、安全な学校

○子どもと教師が互いに学び合い成長できる学校

### ③めざす教師像

- 子どもへの深い愛情と広い視野をもって、学び続ける教師
- 法令を順守し、子ども・保護者・地域・同僚から信頼される豊かな感性と包容力をもつ教師
- 組織人として働き、地域と共にある学校づくりに参画する教師

### (4) 本校の教育課題と経営課題

児童は、家庭・地域に見守られ、素直であるが幼さない児童も多い。保護者は行事へ協力的である反面、基本的な生活習慣の定着や家庭学習への支援等に対して十分ではない家庭もあり、生活、学習ともに基礎・基本の定着が課題となっている。

職員は、学年・隣接学年・分掌等の組織を大切に、若年教員の育成、中堅・ミドルリーダーの育成を図り、変化に対応する幅広い視野、豊かな識見をもつ授業力、生徒指導力の向上が求められる。その上で学校・家庭・地域が役割と責任を明確に、さらに連携・協働して教育活動を展開する必要がある。

#### ①教育課題

- 確かな学力（学ぶ意欲・思考力・判断力・表現力）の向上、基礎・基本の確実な定着
- 基本的な生活習慣の定着と心の教育の推進

#### ②経営課題

- 授業力、生徒指導力の組織的向上
- 家庭・地域との連携・協働の充実

### (5) 本校学校経営の基本方針

青小キャラバンを再考した青小ドリーム（仮称）を核として、学習や各種行事等を系統的につなげ、成果と課題を児童・保護者・地域と共有し、次の学習や行事等へ発展させて継続的な学びを育み、健やかな心と体をもつ青柳っ子を育成する。

このためには、児童の登校意欲、学習意欲、行事实践意欲を喚起する必要がある。日常の生活で個の見取りを大切に、個の課題を明確にして家庭と連携し、個に応じた適切な指導・支援を行い、学習の基礎・基本の定着・向上、基本的な生活習慣の定着・向上、基礎体力の維持・向上を図る。

このとき、「教える、任せる、鍛える、ほめる、伸ばす」（＝ステップ5）を指導の柱として、理解するまで丁寧に「教える」。理解が進めば活用・応用の「任せる」「鍛える」場をつくる。

「任せて、鍛えて」できたこと、またその経過をしっかりと認めて「ほめる」。このことで一人一人の自己肯定感、自己有用感等を高め、「主体的に学ぶ」意欲を育む。

職員は教育公務員としての強い自覚、「自分と自分の家族は自分で守る」強い意志を持ちながら法令を順守し、綱紀を厳正に保持する。その上で、元気で、いきいきとやり甲斐をもって職務を遂行できるよう分掌等の組織を機能化させ、組織的チーム力の向上を図りながら個々の成長を図る。そして、職員同士互いを尊重し、認め、支え合い、高め合う集団をつくる。そのことにより、子どもが行きたい、保護者が行かせたい、職員が働きたい、地域が自慢の学校づくりを目指す。

#### ①「生きる力」を育む特色ある教育課程の編成・実施・評価を行う。

- 「主体的・対話的な深い学び」を実現するため、日々の自己研鑽、日常的に互いに見合い、見せ合い、高め合う研修体制を充実する。
- 青小ドリーム（仮称）を核として、教科・領域横断的なカリキュラムマネジメントを構築する。
- 本年度の重点目標、研究テーマを具体化し、家庭・地域と協働して実践・評価を行う。

#### ②一人一人の児童をかけがえのない存在として尊重し、児童の良さや可能性を伸ばす活気のある学

年・学級経営を行う。

○人権尊重の精神を基盤に、共感的な児童理解に努め、自己肯定感・自己有用感を高め、集団の一員としてともに生きる喜びを共有する子どもの育成に努める。

○児童、一人一人の見取りと適切な指導を徹底し、個に応じた教育を積極的に推進する。

③学校・家庭・地域との連携を密にし、共通理解を基盤とした学校運営に努める。

○教育改革の動向を見据え、職員一人一人が自己研鑽するとともに、互いに認め合い、支え合い、高め合う協働の学校づくりを推進する。

○家庭・地域とともに育てる教育を実践し、信頼に応える学校づくりに努める。

④豊かな感性や情操を培い、潤いのある学校生活を営むための環境づくりに努める。

○「花・挨拶・笑顔・歌声・ふるさと」を大切にする児童が育つ学習環境整備に努める。

○異学年交流や読書活動等を通して豊かな心を育む。

## 2 本年度の重点

### (1) 本年度の重点目標

#### 学びに向かう姿勢（準備・実行）の向上

子どもアンケート 90%以上

（学習の準備ができている）：「毎日できている」

（自分の考えを発表している）：「よくする」

（学校が楽しい）：「とても楽しい」

学習や行事等に向かう意欲を左右する様々な準備を大切に、意欲をもって望み、児童一人一人が自分と同じように友だちの大切さに気づき、その存在を認め、思いやり、積極的に関わり合いながら取り組むことで楽しい学校生活を創り出す。

### (2) 重点目標達成のための経営の重点

①健やかな心、体づくりの推進

学習・各種行事等の目標の明確化と系統性ある実践、評価の徹底

日常的、継続的な健康づくりの実践

②「深い学び」を育む授業改善・人材育成

授業時間の意識高揚、学びの基本の推進、いいねタイム（自分の考えを深め、広げる場がある）の設定促進、隣接学年での人材育成

③家庭学習や読書習慣の定着

家庭学習の精選・評価、読書の質の向上、関係機関と連携した学びの場の充実。

④積極的生徒指導（自己決定の場、自己存在感、共感的人間関係）の組織的推進

委員会活動の充実、学年・分掌組織での共有・実践

⑤インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりを推進

個人カルテの活用、キャリアパスポートの活用、特別支援教育の理解促進、

⑥コミュニティ・スクール（地域力）による教育活動の充実

既存組織の連携強化、人材の発掘・活用促進